

■工学研究科 機械系専攻 機械工学分野

○カリキュラム・ポリシー

【博士前期課程】

1. 機械工学分野のディプロマ・ポリシーを踏まえ、学域と大学院博士前期課程のそれぞれにおいて完結性をもたせた教育を行いつつ、学域から大学院に至る教育を行うことのできる体系化された教育課程を編成する。
2. 講義科目では、機械工学全般にわたる幅広い高度な学理・専門知識を身に付ける。
3. 特別演習および特別研究では、機械システム、エネルギーシステムの高度機能化・知能化・高信頼性に関連した課題に対する研究および問題解決に関する基本的な能力を修得するための専門知識の教授および研究指導をする。
4. 少人数の研究グループでの指導では、講義科目などで修得した能力を基礎として、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を身に付け、国際的な視野と感覚を持ち、人間としての倫理観を備え、人・環境と共存・共生できる機械技術、機械システムの発展を目指して、学際的な領域を含む幅広い分野で活躍できる能力を修得できるように指導する。
5. 修士論文の作成・発表を通じて、学術論文や技術資料の調査・分析ならびに学術報告・論文の執筆・発表技術を修得できるように指導をする。
6. 技術者および研究者として、豊かな教養と高い倫理観を培い、社会貢献と責任について考える能力を修得させるため、「研究公正 A」を開設する。
7. 研究者・技術者に必要な英語の運用能力を修得させるため、英語で実施する講義科目を開設する。
8. 留学生の教育環境の充実を図り、海外大学との学生交流や教育連携を強化するため、すべての講義を英語で実施する「英語コース標準履修課程」を設ける。

【博士後期課程】

1. 機械工学分野のディプロマ・ポリシーを踏まえ、学域と大学院博士前期課程および後期課程のそれぞれにおいて完結性をもたせた教育を行いつつ、学域から大学院に至る教育を行うことのできる体系化された教育課程を編成する。
2. 講義科目では、機械工学における高度な学理・専門知識を身に付ける。
3. 特別演習および特別研究では、機械システム、エネルギーシステムの高度機能化・知能化・高信頼性に関連した課題に対する研究および問題解決に対して自立して問題解決および研究開発できる能力を修得するための専門知識の教授および研究指導をする。
4. 指導教員によるマンツーマンの指導では、修得した能力を基礎として、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を身に付け、国際的な視野と感覚を持ち、人間としての倫理観を備え、人・環境と共存・共生できる機械技術、機械システムの発展を目指して、学際的な領域を含む専門分野で新しい知識を体系化し、先導的な領域を創生できる能力を

修得できるような指導する。

5. 博士論文の作成・発表を通じて、学術論文や技術資料の高度な調査・分析ならびに学術報告・論文の執筆・発表技術の指導をする。
6. 技術者および研究者として、高度で豊かな教養と厳格な倫理観を培い、社会貢献と責任について考える能力を修得させるため、「研究公正 B」を開設する。